

# ひめだ高松ニュース

No. 978

13. 9. 25

日本共産党 和歌山市会議員

## 9月定例会市議会報告



今週は、少し曇りくういに天気が良くなりました。9月定例会市議会は、議案審査の常任委員会が終わり残すところ最終日(30日)のみとなりました。今号は日本共産党市議団の一般質問について報告します。

## 保育所問題と同和对策事業

9月12日(木)日本共産党の森下市議会議員は、保育所問題や同和对策事業で市の姿勢を質しました。

市立河内保育所の民営化問題で森下市議は、老朽化した園舎の耐震化と民営化を抱き合わせる市の進め方を

を批判。安全な工事と公立保育所の存続を求める保護

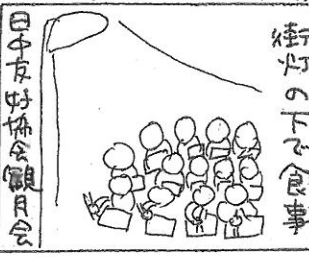
## 防災問題 特別警報と避難路

9月12日(木)日本共産党の渡辺忠広市議会議員は、防災問題について一般質問をいたしました。渡辺議員は、

者の声に忠告を打ち迫りました。大橋市長は「解決策を見いだすのは難しいが、保護者との話し合いは続けた」と答弁しました。

森下市議は、2001年度末で同和对策特別法が終了されたにも関わらず、和歌山市では終結前と同じ扱いを続けている市営住宅問題を取り上げ、市民の間に壁をつくり問題の解決を遅らせていると批判し、事業の一般化を求めました。

気象庁が新たに運用を開始した「特別警報」について和歌山市の防災無線が50%の市民しかカバーしていない



いこころを指摘し、おの対応一を愛しました。

## こんにちは ふじい健太郎

長寿会の会長としても尽力されてきました。私といっしょに訪問した家を後日、地図に入れて一人で行くという活動を続けられていました。昨年12月に94歳で世界を旅しましたが、今も人々の口にも名前が出てきます。

今年も10月26日に合葬追悼式が行われるに際して、故人の遺族の方に合葬の同意と協力のお願いに回りました。今年の対象者は、43名いらっしゃいますが、なじみの方も多くあり、生前の姿を偲びながら懐かしさに耽っていました。

今回、特に私と縁が深く、長年、共に活動した人の一人に中之島の土肥孝一さんがいます。党の活動とともに医療生協の



ふじい健太郎 前県会議員

渡辺市議はまた、避難路について、「生活道路に関する計画が立案されていはいしという包括外部監査の指摘を示して、整備の促進を求めました。4000人以上が参加した木ノ本地区連合自治会による避難訓練のほかで地域要求として出された木ノ小学校以外の道路拡張について要求しました。川端建設局長は「事業化に向け検討したい」と答弁しました。

## 利用しやすい介護保険に！

9月13日(金)日本共産党の松坂みち子市会議員は、介護保険について一般質問。日中仕事で家にいない息子さんから、お母さんの食事の用意ができないので介護サービスを利用したいけれど、利用できないという相談を受けたことを紹介。老夫婦世帯でもサービスが使えない場合があることや、食べたい物を自分で選べない

という買い物にヘルパーを同行してもらいたいが認められない、家族が医師から病状を聞くために介護タクシーに同乗したいが拒否されるなど、

## 障害者の就労・雇用施策

9月17日(火)日本共産党の南畑さち代市会議員は、障害者就業について一般質問しました。南畑議員は、障害者の現状を憂うことも、

そこで、介護に対する市民の要望が反映されていない介護保険事業の問題点を指摘し、改善を求めました。また2015年度から専任者を確保から外す国の方針を批判、市の考えを質問。

## こどもたちは 日本共産党

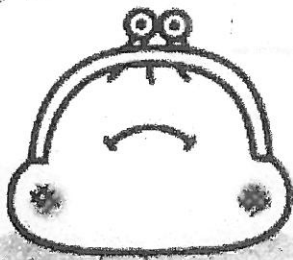
消費税増税と大企業減税 安倍自公政権は、来年4月からの消費税増税のために追加的な経済対策を打ち出そうとしています。その目玉となっているのが大企業向けの減税

です。消費税の増税を国民に押しつけるため、大企業に減税するというのは、まったくつじつまの合わない本末転倒の対策です。しかも、そのために東日本大震災の「復興特別法人税」を1年前倒しして来年度から廃止するというのは、被災者をはじめ多くの国民の気持ちを踏みにじています。

そのうえ安倍自公政権は大企業に対し、再来年度からは法人税の実効税率をさらに引き下げようとしています。大企業の税負担を軽くし、もうけを増やしても、それだけでは雇用も賃金も改善しません。消費税の増税は中止し、国民の所得を増やす政治にすべきです。

消費現 負担は大きい 若い世代が 老いも若きも苦しむのが消費現

消費税 若い世代が 苦しむ 老いも若きも



がまぐつちゃん